

千葉商科大学 自然エネルギー100%大学 ＜学長プロジェクト4＞ 持続可能なエネルギーとは何か

千葉商科大学公開講座

2021年1月29日（金）

鮎川ゆりか

千葉商科大学名誉教授

(株) CUCエネルギー取締役



(AP Photo/AIR PHOTO SERVICE) MANDATORY CREDIT

Prologue: CUC 公開講座 (2013年度)

「持続可能な環境エネルギー政策を考える」



	日にち	タイトル	講演者	プロフィール
第1回	11月2日	環境・エネルギー政策と持続可能性	原科幸彦	政策情報学部教授、IAIA元会長
第2回	11月23日	3.11以降の原子力発電の現状と課題	鈴木達治郎	原子力委員会委員長代理
第3回	12月7日	環境経済学から見たエネルギー政策	三橋規宏	千葉商科大学名誉教授
第4回	1月17日	先進エネルギー・マネジメント	柏木孝夫	東京工業大学教授
第5回	2月14日	環境エネルギー政策、世界の潮流	鮎川ゆりか	政策情報学部教授、WWFジャパン元気候変動特別顧問
第6回	3月7日	世界の原子力事情—エネルギー政策には何が必要か	マイケル・シュナイダー	フランス、エネルギーコンサルタント

メガソーラー野田発電所 2013年設置、2014年稼働（FIT適用）

2014年度発電量実績

キャンパスで使われた電力の**77%相当**
残りの23%を省エネ・創エネで削減できたら・・・



**自然エネルギー
100%
エコキャンパス実
現！？**

100%自然エネルギーエコキャンパス
実現のため経済産業省の補助金を獲得し、
専門家に調査委託。専門委員会を立ち上げ、
学長・学部長が参加。学生は「学内インターン」
として参加
「省エネ・創エネプロジェクト」始動

政策情報学部の正式プロジェクトとして、 サーモグラフィー用機器を学部が購入。 無駄・温湿度調査実行



フォーカスグループ

どんな学内省エネ行動なら学生はやるか



提案 節電週間の導入

大学全体で節電に取り組む期間を定期的に設けることにより、学生の省エネ意識を高める。

以上指導：現手嶋進先生（当時サステナジー）

2017年「学長プロジェクト」に 「自然エネ100%大学」 大学全体で目指す



全学での取り組みに

5学部の先生方・学生、大学事務局、理事会が一体となり、実現へ取り組む

大学としての意思決定が迅速になった

例：補助金なくてもLED交換やるか。
野田の空きスペースへのパネル増設
すぐにOK（7～8月決定）





LED化工事、夏休みの9月中
に急ピッチで施行
野田に太陽光パネルを増設
(2018年2月～3月に実施)

節電週間の取り組み グリーン・カーテン・打ち水大作戦

計画・実行班：杉本ゼミ



撮影：2017年8月29日、鮎川

チラシ作成：吉羽・糊沢ゼミ

打ち水実行班：
鮎川ゼミ、原科ゼミ
(2016)、
江波戸ゼミ (2017)



協力：伊藤宏一先生

Yurika Ayukawa



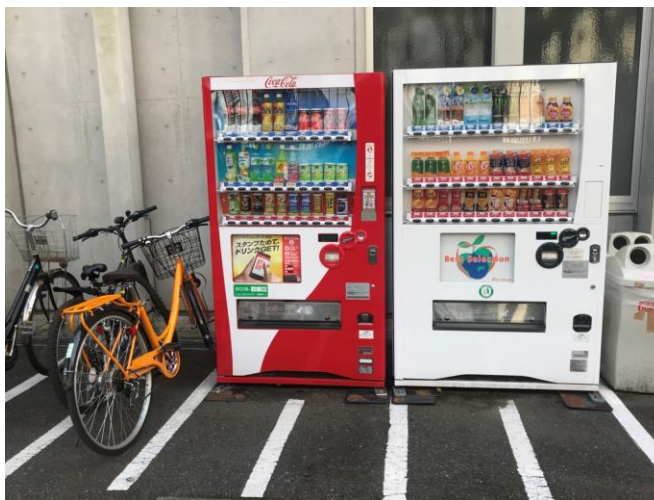
協力：真間山弘法寺、ベン&ジェリーズアイスクリーム

私の最後の年：1年生入門ゼミ研究「キャンパス内の自動販売機から消費電力を減らす」

売上低いものの撤去と省エネ型へ変更により、



2号館左



1号館裏 駐輪場右側



1号館1階

合計で6477kWh削減できる。これは削減前より15%削減！！

指導：現手嶋進先生

2020年目標達成のための学生団体SONE設立 (Student Organization for Natural Energy)

学生目線で省エネや地球温暖化防止への取り組みを考え、大学と共に活動する

企画・実施・大学への提言活動を通じて、学内消費エネルギーの低減を目指す



新1年生に向けてできた1年生だけの学生団体SONE (2018年3月23日)

Thank you so-oo much!